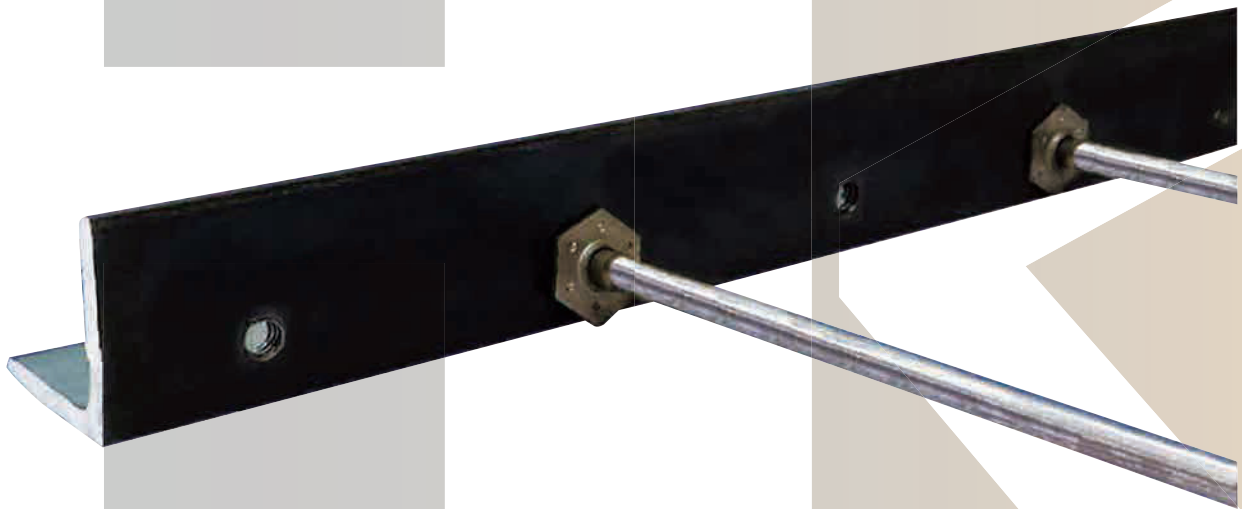


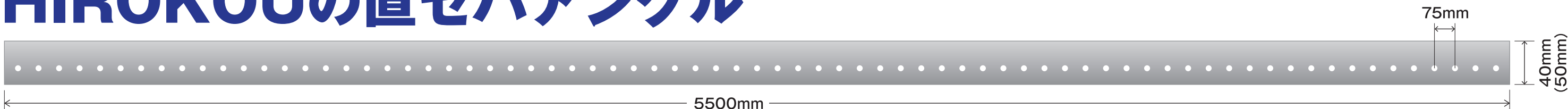
HIROKOU

直セパアングル・片壁HR工法



HR

HIROKOUの直セパアングル



「直セパアングル」とは

従来の工程

- ① 墨出し
- ② ネコ付け
- ③ セパ引き用アングル取付
- ④ セパ受け金物取付位置墨出し
- ⑤ セパ受け金物取付
- ⑥ セパ長さ調整
- ⑦ 型枠建込

無駄を省いて
スピードアップ

直セパアングル(HR工法)の工程

- ① 墨出し
- ② ネコ付け
- ③ 躯体づら墨出し
- ④ 直セパアングル取付
- ⑤ ネコ不要部分切断
- ⑥ 型枠建込

定 尺 : 5500mm

穴直径 : W5/16 (2分5厘)

種 類 : 5×40×40 L5500、6×50×50 L5500

穴 数 量 : 73ヶ所

穴ピッチ : 75mm

直セパアングル施工事例



「直セパアングル」利用メリット

- 1 セパの長さが一定に保てる為、**大工さんの施工スピード**が上がります。
- 2 余分なセパの長さがいらず、**躯体寸法のセパ**が使用できます。
- 3 セパ受け金物取付位置の**墨出しの待ちがありません**。
- 4 セパ受け金物の取付の**余分な人工が軽減**されます。
- 5 自社商品・自社運搬の為、**対応がスピーディー**です。
- 6 鉄筋・型枠・溶接のラップ作業が無くなり**工期短縮、トータルコストの軽減**に繋がります。

「片壁HR工法」利用メリット

大工さんがセパを取れるよう製造しています。つまりコンクリート増し打ち軽減にも一役買っていますので大好評です。型枠に製造して現場へ納品いたします。



※躯体から10mm離して施工します。

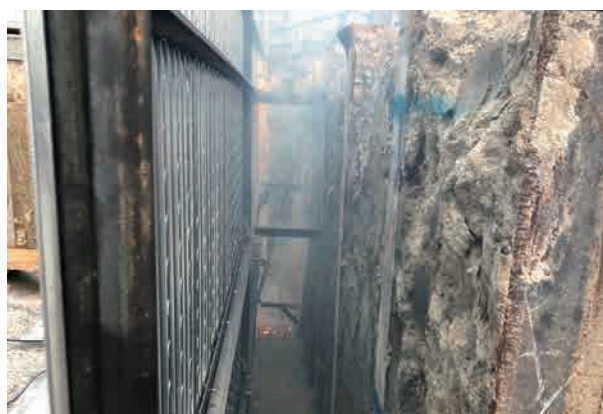


※穴ピッチ75mm。

片壁HIROメイト 施工事例



※穴は100mmピッチ、
セパレーターは100mmピッチでとれます。



※この増し打ちスペース分が軽減されます。

部材の種類

●直セパアングル(mm)

5×40×40 L5500 6×50×50 L5500

●ネコピース(mm)

4×50×50 L100

平均許容強度(タップ1ヶ所当り)

アングル寸法(mm)	タップ寸法	平均破壊強度(KN)	平均許容強度(KN)
L-5×40×40 (L5500)	2分5厘(W5/16)	16.8	11.7
L-6×50×50 (L5500)	2分5厘(W5/16)	23.0	16.1



株式会社HIROKOU

本 社

〒576-0061 大阪府交野市東倉治3丁目18-5
TEL.072-892-1171 FAX.072-892-1172

関東営業所

〒272-0004 千葉県市川市原木1丁目15-24
TEL.047-329-2927 FAX.047-329-2978
<https://www.hirokou-co.jp>

〈販売施工会社〉